品川区長あて

（1/2）

誓　　　約　　　書

品川区が実施する令和７年度競争力強化支援事業におけるＤＸ推進助成申請にあたり、申請書に虚偽記載がないこと、申請者及び共同申請者が次の１～１６を含む募集要項記載の申請要件等の全てを満たしていることを確認した。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 項目 |
| １ | 次の（１）～（３）のいずれかに該当する法人（中小企業基本法に規定する中小企業）又は個人事業者であり、品川区内に主たる事業所を有し、引き続き１年以上事業を営んでいる。1. 資本金の額もしくは出資の総額が３億円以下または従業員の数が300人

以下の製造業者（以下「中小製造業者」という。）である。また、履歴事項全部証明書において製造業者だと明確にわかる。1. 中小製造業者を中心とするグループである。
2. 製造業を主に営む個人事業者である。
 |
| ２ | 申請時点において業務改善を行う当該事業を1年以上継続して営んでいる。 |
| ３ | 工場など本格的な生産設備を持ち、自社製品を製造している。 |
| ４ | 次の（１）～（４）の要件について、全てを満たしている。（※みなし大企業でない）(1)大企業が単独で発行済株式総数又は出資総額の１／２以上を所有又は出資していない。(2)大企業が複数で発行済株式総数又は出資総額の２／３以上を所有又は出資していない。(3)自社の役員総数の２分の１以上を大企業の役員又は職員が兼務していない。(4)大企業が実質的に経営に参画していない。 |
| ５ | グループによる申請である場合、構成企業の２／３以上が中小製造業者であり、申請者が経費全体の１／２以上を負担している。 |
| ６ | 法人都民税および法人事業税（個人の場合は個人事業税および住民税）を滞納していない。 |
| ７ | 品川区に対する使用料等の債務の支払いが滞っていない。 |
| ８ | 「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」による規制の対象でない。 |
| ９ | 品川区暴力団排除条例に規定する暴力団または暴力団員もしくは暴力団関係者と密接な関係を有さない。 |
| 10 | 民事再生法または会社更生法による申立て等、助成事業の継続について不確実な状況ではない。 |
| 11 | 本申請と同一テーマ・内容で他の公的機関から助成を受けていない。 |
| 12 | 令和７年度品川区デジタル技術活用推進助成（ハードウェア・ソフトウェア）の採択事業者となっていない。※同年度におけるデジタル技術活用推進助成（ハードウェア・ソフトウェア）との併用採択不可 |

品川区長あて

（2/2）

誓　　　約　　　書

品川区が実施する令和７年度競争力強化支援事業におけるＤＸ推進助成申請にあたり、申請書に虚偽記載がないこと、申請者及び共同申請者が前述および次の１～１６を含む募集要項記載の申請要件等の全てを満たしていることを確認した。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 項目 |
| 13 | 令和６年度ＤＸ推進助成の採択事業者になっていない。※２年連続採択不可 |
| 14 | 本助成金の申請前に品川区ＤＸ・デジタル技術活用推進事業におけるＤＸコーディネーターのヒアリングを受けている。 |
| 15 | 令和７年度ＤＸ推進助成募集要項で、本助成金の詳細について確認した。 |
| 16 | 品川区産業振興施策に関するアンケートに回答することを了承する。 |

年　　月　　日

所在地

事業者

代表者